令和８年 ３月 19 日

学校長殿

入試広報課
矢田　守

令和７年度　入試広報課 課内評価

令和７年度　入試広報課　重点目標

入試広報課の重点目標：**『つながりを深める媒体となる』**

本校の情報を得たいと考えている外部の方々には、我が校の特色ある教育内容（幅広い進路に対応するコース制や手厚い進路指導など）、充実した学園生活（特色のある行事や活発な部活動など）等、本校の長所や魅力を十分アピールしていきたい。

在校生に対しては、自分が在籍する学校への愛着を感じ、木更津総合高校の生徒として誇りを持ち、愛校心を育む内容となるよう掲載記事の編集に努める。また規模の大きな学校であるがゆえに、自分と関わりの浅い活動や他ハウスの事情に疎くなりがちである。その情報のギャップを埋める一助となるよう幅の広い情報の収集に努める。

保護者に対しても、学校への理解を深めていただけるよう、校内の出来事や学校行事等の情報を発信していきたい。

評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
2	運動部･文化部の活躍、充実した学校行事。今年はテレビ番組への出演(３件)が目立った年度でもあった。本校の活発な活動、様々な場面を、HP を通じて十分発信できた。	昨年度より、語学研修や海外校の来訪など、国際交流の記事が増え、今年度は１割(15 件)を占めた。

入試広報課の方針

上記の役割を十分に果たしその目標を具体化するため､以下の項目に重点を置き今年度の業務に取り組む。

① 正確な情報収集と迅速な発信

掲載記事を生き生きとした内容にするためには、常に最新の情報を集め迅速な更新が求められる。拙速なものにならないよう情報を精査し、齟齬や誤謬ない編集を心がける。また、個人情報の管理にも十分配慮する。

評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
3	１月末現在で１００超の記事を掲載し、その殆ど(９割超)は、当日掲載であった。	記事中の誤り･誤表記も当日中に訂正できた。

② 各ハウス、各部署、生徒会及び部活動顧問との密な連絡

ＨＰ上の様々な情報、部活動紹介など、多方面の教職員から協力を得られなければ、成り立たないものばかりである。連絡を密に取り、協力を要請する。

評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
3	今年度も、担当教師･参加生徒からの多くの写真･記事の提供を受けた。取材の依頼もあった。掲載記事は大いに充実した。	語学研修(7 月)での生徒による、生き生きとした記事は好評を博した。

③ 入試広報課内の連携と役割分担の徹底

業務内容を確認し各担当者の役割分担を決め、協力し合える体制を整える。

評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項
1	校正原稿の確認が滞った。業務に支障が生じなかったのは、几帳面に取り組む課員の功績であった。	依然として長期休業中の確認に課題が残る。